

# 用語集

## A～Z

ADHD（注意欠陥多動性障害）	注意持続の欠如もしくは、その子どもの年齢や発達レベルに見合わない多動性や衝動性、あるいはその両方が特徴で、この3つの症状は通常7歳以前にあらわれる。
CEMS (地域内エネルギー管理システム)	エネルギーの需給状況を街全体で把握し管理するシステムのこと。 (CEMS: Community Energy Management System)
各EMS (エネルギー管理システム)	センサーやIT技術を駆使して、電力使用量の見える化（可視化）を行うことで節電につなげたり、再生可能エネルギーや蓄電池等の機器の制御を行って効率的なエネルギーの管理・制御を行うためのシステムのこと。対象によってHEMS（家庭用エネルギー管理システム）、BEMS（ビル用エネルギー管理システム）、FEMS（工場用エネルギー管理システム）、CEMS（地域内エネルギー管理システム）などと称される。
ICT	情報の伝達、処理、加工、共有等の役割を果たす通信技術のこと。
LD（学習障害）	全般的な知的発達に遅れはないのに、読む、書く、計算するなどの特定の能力を学んだり、おこなったりすることに著しい困難がある状態をいう。
PDCA サイクル	計画（Plan）を立て、実行（Do）し、その結果を点検（Check）し、反省点や成果を踏まえて見直す（Action）というサイクル。このサイクルを繰り返すことで、仕事をレベルアップしていこうとする考え。
PDD（広汎性発達障害）	自閉症、アスペルガー症候群のほか、レット障害、小児期崩壊性障害、特定不能の広汎性発達障害を含む総称のことであり、対人関係の障害、コミュニケーションの障害、パターン化した興味や活動などの特徴がある。
SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）	人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型の会員サービス、あるいはそういったサービスを提供するウェブサイトをいう。 SNSは2003年頃アメリカで誕生し、初期資格を有名大学の学生に絞って人気を博し、その後世界最大のSNSに成長した「Facebook」などが有名。

## あ行

アダプト制度	行政が公共スペースを選定し、覚書に基づいて住民や事業者が定期的に美化活動等を実施する制度。
1.5車線の整備	地域の実情に合った道路の整備を実施するもので、地域の生活を支える道路（「地域道路」）について、全線にわたり2車線整備する手法から、1車線改良・2車線改良・視距確保・待避所の設置等を組み合わせて整備する手法のこと。
命の里	安全な食料の生産、おいしい水や空気の供給、美しい景観や伝統文化の保全、森林や田畑による自然災害の防止など、府民の生活を支える農山村地域のこと。
インバウンド	外国人旅行者を自国へ誘致すること。
宇治茶GAP	GAPは「Good Agricultural Practice」の略で農業生産工程管理と訳される。宇治茶GAPは宇治茶生産をする上でのさまざまなリスクを低減し、宇治茶ブランドにふさわしい、良質で安心・安全な宇治茶を提供し宇治茶に対する信頼性を高め、宇治茶の生産者及び産地がこれからも持続的に発展していくために、生産者・関係機関・団体・行政が一体となって導入・実践に取り組むもの。
宇治茶の郷づくり	平成18年度に策定した宇治茶の郷づくり構想に基づき、「お茶の生産拡大」を柱に、「歴史・文化の再発見運動、お茶する生活の普及」「宇治茶の情報発信」等の取組を進めてきたもの。

宇治茶の郷づくり協議会	山城地域を宇治茶の郷として気運を高める事業を行いながら、宇治茶を通じた和の文化の継承と「お茶する生活」の実現をめざし、日本の宝である「宇治茶」を単に産業面だけでなく、歴史、文化、観光、福祉、教育などさまざまな分野と連携を進め、山城地域を宇治茶に感動体験できる世界一の宇治茶の郷にしていくことを目的に組織。
雨水貯留施設	集中豪雨の際、雨水を一時的に貯めて流出の抑制を図り、河川や水路からの溢水による被害を軽減するための施設のこと。
エコノミック・ガーデニング	地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という「土壌」をいかして、中小企業等を大切に育てることにより地域経済の活性化を図る手法。京都府においては、事業計画段階から本格展開まで一貫して伴走型、かつ一体的な中小企業等の支援を行っている。
オープンイノベーション拠点	先端的な研究開発が集積し、内外の多彩な研究者が集い交流することにより、新たなイノベーションを創出する拠点。
「お茶の京都」づくり	我が国で最も長い歴史を有する茶生産地であり、今なお素晴らしい景観を形成し、最高品質の緑茶を産出する地において、宇治茶をテーマに、お茶生産の美しい景観維持やお茶文化の発信等を通じ、人やものの交流が盛んな地域となることをめざしている。
乙訓「若竹」産業創造プロジェクト	乙訓地域の「竹」を、地域の誇るべき資源として再認識し、タケノコの加工等の6次産業化や、放置竹林対策、竹工芸品の新商品開発、体験観光ツアー等、「竹」をキーワードとして、幅広い地域活性化施策を推進していくもの。
温室効果ガス	大気を構成する気体であって、赤外線を吸収し再放出する気体。気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄の6物質が温室効果ガスとして削減対象とされている。

## か行

介護療養型医療施設	介護保険法に定める「施設サービス」を提供する事業所で、医療における管理の下で、介護、看護等のサービスを受け、機能訓練や日常生活上の世話を受ける施設。
介護老人福祉施設	介護保険法に定める「施設サービス」を提供する事業所で、食事・入浴・排泄などの介護やその他日常生活の世話や機能訓練を受ける施設。
介護老人保健施設	介護保険法に定める「施設サービス」を提供する事業所で、医師の指示により、理学療法や訓練等による心身の機能訓練を受け、在宅復帰をめざす施設。
買い物難民	過疎化で商店が撤退・廃業したり、高齢で行動範囲が狭くなったりして、食料品や生活必需品の買い物に困る人々のこと。
環境情報提供ネットワーク	日々増え続けている環境に関する情報について、最新の情報を入手し、有効に活用出来るように、平成23年1月から運営開始したネットワークで、法令改正情報や講習会開催のお知らせなどタイムリーな環境情報を提供している。
観光入込客数	日常生活圏を離れ、余暇時間の中で、その者の居住範囲の内外、あるいは外出距離の遠近にかかわらず、日常生活圏を離れて行うさまざまな活動であって、触れ合い、学び、遊ぶ諸活動目的で観覧・遊覧施設、海水浴場、観光レクリエーション施設を有する場所・施設並びに単独の施設及び面的に広がりのある場所を訪れた者及び他の用務と観光の目的を兼ねた者の数。
観光消費額	観光客により旅行・滞在中に観光地点、宿泊施設等においてなされる飲食、宿泊、娯楽、移動、土産物購入等に要した費用の総額のこと。

関西イノベーション国際戦略総合特区	「国際戦略特区」とは、先駆的取組を行う実現可能性の高い区域に国と地域の政策資源を集中するために設けた制度で、全国的な展開に踏み切れない規制の特例も、区域限定で実施でき、指定を受けた場合、特例措置・支援措置が受けられる。本総合特区は、関西の三府県（京都府、大阪府、兵庫県）・三政令市（京都市、大阪市、神戸市）が、行政区域を越えて関西の強みがいかにせる ①医薬品 ②医療機器 ③先端医療技術（再生医療等） ④先制医療 ⑤バッテリー ⑥スマートコミュニティ という未来の生活を変えることが可能な6分野で共同申請し、平成23年12月22日に国の指定を受けたもの。
関西文化学術研究都市	関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）は、京都、大阪、奈良の三府県にまたがる京阪奈丘陵に位置し、産学公の連携のもと、文化・学術・研究開発の新しい拠点を形成するとともに、魅力ある居住環境、都市環境の創造をめざした、21世紀にふさわしい都市をつくるナショナルプロジェクト。全体で15,000ヘクタールの区域に12の文化学術研究地区（クラスター）を開発整備するもので、周辺の自然環境やコミュニティとの調和を図りながら、段階的に整備が進められている。
キッズ「茶ムリエ」検定	京都府山城広域振興局において、将来の宇治茶ファンを育成するため、小学3年～6年生を対象に、宇治茶の歴史・文化、茶種等に係る筆記テスト（宇治茶大好き検定）とお茶の飲み分け検定を実施。合格者は、「キッズ茶ムリエ」に認定。
機能性成分	食品に含まれる体調節作用をもたらす成分。 茶の場合、カテキンの抗酸化、抗菌作用、カフェインの中樞神経興奮、利尿作用、テアニンの血圧降下、鎮静作用などがある。
救急告示病院	「救急病院等を定める省令」（昭和39年2月20日厚生省令第8号）に基づいて都道府県知事が救急病院である旨等を告示した病院。
京都エコ・エネルギー戦略	東日本大震災後のエネルギーを巡る諸情勢を踏まえ、府民生活や産業活動を守り、発展させるため、エネルギーの安全・安定的な確保に関して、地球温暖化対策など環境（エコ）と経済活動の視点を連携させた京都府におけるエネルギー政策の方向性と施策のあり方についての戦略のこと。
京都応援きゃらくたあず（京きゃら）	京都を連合して盛り上げていくため、平成26年8月に結成されたご当地キャラクター集団。
京都乙訓ダイナミックシティーズ構想	京都市に隣接し、竹をはじめとする豊かな自然や優れた歴史文化資産、世界的な先端企業の立地に恵まれるとともに、京都第二外環状道路（にそと）・京都縦貫自動車道の開通等により、京都府域の東西南北を結ぶ新たな交通の要衝地になりつつある乙訓地域に、観光、産業等の高次都市機能が集積し、向日市・長岡京市・大山崎町の都市連携により、京都府の新たな成長核としてダイナミックに発展する圏域を創出する構想のこと。
京都ジョブパーク	ハローワークと緊密に連携し、相談から就職、職場への定着まで、ワンストップで支援する総合就業支援拠点。京都ジョブパークでは、京都府、労働者団体、経営者団体等が一体となった「共同運営方式」や「企業応援団」の結成など、全国初の取組を通じて、「働きたい」気持ちを支援。
京都第二外環状道路（にそと）	沓掛IC - 久御山ICをつなぐ総延長15.7kmの国道478号および国土交通大臣指定に基づく高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）である京都縦貫自動車道の一部。略称および愛称は、京都第二外環道・にそと。平成25年4月21日に全線開通した。
京都・西の観光	京都最大のゲートウェイであるJR京都駅から西の方角に、南は乙訓、西は南丹・京丹波、北は京北・美山までを緩くつないだエリアを中心に魅力を発信し、観光誘客を図る。
京都認知症総合対策推進計画（京都式オレンジプラン）	医療・介護・福祉等関係機関が連携し、認知症の早期発見・早期対応、認知症ケアの充実や家族（介護者）への支援など、関係機関・団体等の役割の明確化を図るための府民、関係団体、行政、事業所それぞれの行動指針。

京都府環境基本計画	京都府環境を守り育てる条例に基づき、京都府の環境の保全及び創造に関する総合的かつ長期的な施策の大綱を定めるもので、環境行政の推進に関する個別の条例や計画、府民協働で取り組む具体的施策・事業の指針となるもの。21世紀半ば環境像等を展望し、施策目標や展開を明らかにする新計画が平成22年10月に策定された。
京都府景観資産登録	地域固有の歴史や文化に裏打ちされた府内各地の身近な景観とその景観を支えている地域の活動を合わせて、景観資産として登録することによって、景観資産としての価値をみんなで共有、情報発信による地域の魅力向上、地域の景観づくり活動やまちづくり活動の促進を図り、京都府内の景観づくりを進めるもの。
京都府循環型社会形成計画	21世紀を持続可能な社会にするため、廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用などにより環境負荷の少ない循環型社会を形成していく基本的な方向を示し、府民、事業者、NPO、府内の市町村や京都府等のすべての主体が循環型社会をめざして取り組んでいく指針となるもの。第二期計画は平成24年3月に策定。
京都文化フェア（仮称）	2020年（平成32年）の東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて、日本文化の素晴らしさを世界の人々に体感してもらうため、京都で開催される予定の文化祭典のこと。
京都モデルファーム運動	地域の農家や集落で活用が困難な耕作放棄地について、地域と企業やNPO、都市住民グループなどの多様な団体が協働して再生・活用することで、府民全体で農業・農村の有する多面的・公益的な機能を維持・保全していく運動のこと。
京都やましろオンリーワン倶楽部	オンリーワンの技術や経営ノウハウ等を有する企業等が、ともに学び、交流・連携等を通じて互いに成長・発展をめざす異業種交流ネットワークのこと。
京都林業ルネサンス事業	京都の林業を成長産業化するため、大型木材加工施設の誘致や府内産木材の増産体制強化・利活用の増大を図る目的で高性能林業機械の導入などを支援する事業のこと。
京力農場プラン	府内の集落または地域で担い手と農地を中心に地域農業の将来ビジョンを描き、その実現に向けて具体的方策を計画して取りまとめたもの。
京やましろ新鮮野菜	「近くでつくって近くで食べる」をコンセプトに「新鮮」「安心」「美味」山城産野菜を生産するための技術要件を満たした農家を登録し、その出荷時に京やましろ新鮮野菜ロゴマークをつけて登録販売店で販売している野菜のこと。
居宅サービス事業所	介護保険法に定める「居宅サービス」を提供する事業所の総称。
クラスター	都市計画などで、道路や各種建築物を互いに関連させ、一つにまとめた区域。学研都市では文化学術研究地区のことを示す。分散配置された12のクラスターが有機的に連携して学研都市を構成している。
クラック	構造物にはいった「裂け目」「ひび割れ」のこと。
景観資産	地域固有の歴史や文化に裏打ちされた府内各地の身近な景観とその景観を支えている地域の活動をあわせて総称。特に「宇治茶生産の景観」とは、緑茶として独自の発展をとげた日本茶の生産の歴史とそれに関わる多様な喫茶文化を雄弁に物語る無二の茶生産の景観である。
けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）	KICKは、内閣総理大臣による「関西イノベーション国際戦略総合特別区域計画」の認定を経て、国有財産法の特例措置を受けて国から京都府に譲与された施設（旧「私のしごと館」）を再生し、先端的な研究開発を推進するための施設として府が整備を進めている施設のこと。（KICK：Keihanna Open Innovation Center @Kyoto）
元気印	京都府中小企業応援条例に基づき、新たな技術や商品の研究開発等に関する取組を応援するための制度の一つで、当該取組に対する知事認定を要件とした各種支援策を通じて認定企業の支援を図ろうとするもの。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく、健康で元気に生活できる期間のこと。
現地現場主義	「地域の実態を踏まえた施策展開」、「本庁と地方機関との二重構造の解消」、「処理の迅速化等による府民サービス向上」など現地現場を重視した主義のこと。

合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。現代先進国においては自然増と自然減との境目はおよそ2.08とされている。
高次都市機能	都市機能のうち、日常生活の圏域を超えた広域地域を対象とする多くの人々を対象にした、質の高いサービスを提供する機能。
校種間連携	子どもの心身の成長や学校生活のつながりを大切にした教育を進めるため、小学校と中学校など校種の異なる学校の教職員が交流したり、子ども同士の交流を連携・協力して取り組むこと。
高速化・複線化第二期事業	JR奈良線において、平成13年3月完成の第一期高速化・複線化事業（京都～JR藤森・宇治～新田間（約8.2km）の複線化等の整備）に続き、第二期事業として、「JR藤森～宇治・新田～城陽・山城多賀～玉水駅間（約14km）の複線化」等を行うもので、事業主体はJR西日本である。
国民文化祭	全国各地で国民一般が行っている各種の文化活動を全国的規模で発表し、競演し、交流する場を提供することにより、国民の文化活動への参加の機運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを狙いとした祭典。1986（昭和61）年から毎年全国各地を巡回して行われており、平成23年に京都府において「こころを整える～文化発信」をテーマに「第26回国民文化祭・京都2011」を開催。
国立社会保障・人口問題研究所	1996年（平成8年）に、厚生省人口問題研究所と特殊法人社会保障研究所との統合によって誕生。厚生労働省に所属する国立の研究機関であり、人口や世帯の動向をとらえるとともに、内外の社会保障政策や制度についての研究を行う。
国家戦略特区	国、地方、民間が一体となって、世界で一番ビジネスのしやすい環境を創出するため、大胆な規制改革等を総合的・集中的に実施する「国家戦略特区」が創設され（平成25年12月13日「国家戦略特別区域法」が成立）、京都府・大阪府・兵庫県全域が「関西圏」として、平成26年5月1日付けで「国家戦略特区」として区域指定された。
コミュニティ	日常の生活を送っている地域社会。地域に暮らす人たちが、互いに理解し合い、連帯意識を持って心地よく暮らすことができるような場をつくり維持している社会、あるいは、そのような人々のつながり。
婚活マスター	京都府が平成26年度から募集し、登録しているボランティアで独身男女のお世話焼きとして、各地域において、出会いから成婚までを伴走支援するさまざまな活動を行っていただく方のこと。

## さ行

さわやかボランティア・ロード事業	地元にお住まいの方や企業の方に、京都府が管理する道路の一定区間で清掃や除草・植栽管理等のボランティアを行っていただく事業のこと。
在宅療養手帳	退院、退所後の在宅療養生活に関する事項を記録し、看護・介護する各職種間にて情報共有するための手帳のこと。
産学公連携	新製品や技術の研究開発等を目的として、企業（「産」）や大学等の教育・研究機関（「学」）及び国や地方自治体等（「公」）が連携すること。
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	仕事（ワーク）と私生活（ライフ）の調和をはかり、無理のない働き方やライフスタイルの実現をめざすこと。
循環型社会	製品等が廃棄物となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進され、及び循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会をいう。
障害者就業・生活支援センター	障害者の就業及び日常生活又は社会生活上の支援を行う機関で、障害者の雇用の促進等に関する法律により都道府県知事が指定する。ハローワークや障害福祉サービス事業所と連携して障害者の就業を支援する機関のこと。

障害者自立支援協議会	障害者等が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むため、地域の実情に応じた、適切な相談支援を実施するための事業者、雇用、教育、医療等の関連する分野の関係者の組織のこと。
少子化非常事態宣言	全国知事会が平成 26 年 7 月 15 日に採択した宣言で「少子化対策を国家的課題と位置付け、国と地方が総力を挙げて少子化対策の抜本強化に取り組み、我が国の未来の姿を変えていくことは我々に課せられた使命であり、今こそ、思い切った政策を展開し、国・地方を通じたトータルプランに総力を挙げて取り組むべき」としている。
親水空間	人々が川や水に触れることで川に対する親しみを深めることができる空間のこと。
新名神高速道路	愛知県名古屋を起点とし三重、滋賀、京都、大阪の各府県を結び兵庫県神戸市に至る延長約 174km の高速道路で、名神高速道路との交通機能分担を確保することで、名神高速道路等の混雑を解消する。また、災害や事故等による交通規制時には、名神高速道路等と相互に代替機能を発揮して的確に交通処理を行うことをめざして建設が進められている。
生活習慣病	以前は成人病（がん・脳卒中・心臓病・糖尿病・高血圧等）と言われていたもので、食生活・運動習慣など日常の生活習慣の積み重ねが原因となり発症する疾患のこと。
世界文化遺産登録	ユネスコの 1972 年の総会で採決された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条例」（世界遺産条例）に基づいて、世界遺産リストに登録された文化遺産（顕著な普遍的価値を持つ建築物や遺跡などで、文化的景観等も含む）のこと。
セクシュアル・ハラスメント	性的嫌がらせのこと。
全国育樹祭	国民各層の参加による国土緑化運動の一環として、活力ある緑の造成気運を高め、次世代にわたる連帯性を深めることを目的に、既に全国植樹祭を開催した都道府県で実施される全国行事。主催は、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県。

## た行

台風 18 号豪雨災害	平成 25 年 9 月 13 日からの台風 18 号による災害は、京都府では記録的大雨となり、16 日午前 5 時 05 分には初の大雨特別警報を発表された。宇治川や木津川等の流量が増加したことにより沿川の地域において、内水被害が発生し甚大な被害を及ぼした。
男女共同参画社会	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保されることにより、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担う社会のこと。
地域高規格道路	地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進等の役割を担う道路で、60～80km/h で走行可能な道路のこと。
地域包括ケアシステム	高齢者が住み慣れた地域（日常生活圏域）で安心して暮らし続けることができるよう医療・介護・福祉のサービスを一体的に提供できる仕組みのこと。
地域力再生プロジェクト支援事業交付金	地域に暮らす住民が自主的に、暮らしやすく魅力的な地域にしようと取り組まれる「地域力再生活動」を市町村と連携して応援する交付金。
地域連携クリティカルパス	急性期病院から回復期・維持期病院そして在宅までの切れ目のない施設・職種間の連携を念頭に、より効果的・効率的なりハビリテーションを提供することを目的とした情報共有ツールのこと。
地産地消	地域生産・地域消費の略語、地域で生産された農産物等をその地域で消費すること。
低炭素型社会	社会経済活動その他の活動に伴って発生する二酸化炭素の排出を抑制したり、吸収作用を保全したり強化した社会のこと。

デマンドレスポンス	電力需給が逼迫する際に、電力供給者側からの要請に基づいて電力使用者側で電力の使用を抑制、もしくは別の時間帯にシフトすることにより需給バランスを保つこと。
天井川	堤防内に多量の土砂が堆積し、川床が付近の平野面より高くなった川のこと。
東部丘陵地	城陽市都市計画マスタープランの中で、東部丘陵地域と区分されている地域のうち、東部丘陵地整備計画の対象地域として指定している山砂利採取地及びその跡地を含む約 420 ヘクタールのエリアのこと。
同和問題	特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に結婚を反対されたり、就職や日常生活の上でさまざまな人権侵害を受けるといふ、日本固有の人権問題のこと。
土砂災害警戒区域	『土砂災害警戒区域（イエローゾーン）』は、土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、市町村による警戒避難体制の整備が義務づけられる。
土砂災害特別警戒区域	『土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）』は『土砂災害警戒区域（イエローゾーン）』のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される。
ドメスティック・バイオレンス	夫婦や恋人などの親しいパートナー間で行われる暴力的行為のこと。

## な行

軟弱野菜	ハウレンソウ、コマツナ、葉ネギなどの葉菜類で、収穫してしまうと水分がなくなり、他の野菜に比べて早くしおれてしまう野菜の総称で、鮮度が重視される。
南部豪雨災害	平成 24 年 8 月 13～14 日に京都府南部で発生した豪雨災害で、宇治川と木津川に流れ込む中小河川が氾濫・決壊したほか、山間部において多数の土砂災害が発生した。天井川である弥陀次郎川の堤防が決壊した他、志津川では増水により民家が流され、人的被害に及んだ。
認知症	いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能が低下し、さまざまな生活のしづらさが現れる状態のこと。
認知症カフェ	認知症の本人、その家族、専門職、地域住民など誰もが参加でき、和やかに集うカフェのこと。

## は行

パークアンドライド	鉄道駅やバス停留所などに設けた駐車場に停車させ、そこから鉄道や路線バスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法のこと。
バイオマス	生物資源（バイオ）の量（マス）を意味する言葉で、再生可能な生物由来の資源のこと。
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもので、予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が図示されている。
発達障害児	自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害がある児童のことで、その症状は通常低年齢において発現する。
バリアフリー	高齢者や障害者等が社会生活を送る上で、障壁となるものを取り除くこと。当初は、道路や建物の段差や仕切りをなくすことをいったが、現在では、社会制度、人々の意識、情報の提供などに生じる様々な障壁も含めて、それらを取り除くことをいう。
パワー・ハラスメント	職場などの権力（パワー）を利用した嫌がらせのこと。

被覆棚	宇治茶のうち、玉露・てん茶の覆い下茶生産のために、新芽生育期に茶園を覆うための被覆資材を棚状に支えるための資材。化学繊維資材を一重に用いる「高棚化繊維一重被覆棚」、二重に用いる「高棚化繊維二重被覆棚」、本ず用の「永久棚」などがある。茶園に直接、被覆資材をかける「直掛け」に対して、高品質化が期待される一方、資材費のコストが高い。
微小粒子状物質（PM2.5）	大気中に浮遊している2.5 $\mu$ m（1 $\mu$ mは1mmの1千分の1）以下の小さな粒子のことで、従来から環境基準を定めて対策を進めてきた10 $\mu$ m以下の粒子である浮遊粒子状物質（SPM）よりも小さな粒子。非常に小さいため（髪の毛の太さの1/30程度）、肺の奥深くまで入りやすく、肺がん、呼吸系への影響に加え、循環器系への影響が懸念されている。
フィールドワーク	野外など現地での実態に即した調査・研究、野外調査のこと。
プラットフォーム	自治会やNPO、大学、企業、そして市町村や京都府などの行政職員などが、共通する課題に応じて集まり、それぞれ参加した人が得意とするネットワークや知恵をいかし、課題解決や新しい価値創造に向け計画や施策をつくり、実行に移していく場のこと。
ブランド京野菜	京野菜など歴史に磨かれた農林水産物の中で、品質的・量的に特に優れたものを、有識者の審査会でブランド認証し、マークを貼って流通している。
プレミアム商品券	地域の消費喚起や活性化等を図ることを目的として、近年、地方自治体等が発行しており、プレミアム（割増金）を付して、地域内での店舗でのみの使用を可能としている商品券のこと。
ベンチャー企業	独自の技術やノウハウ等をいかして、大企業等では行いきにくい事業、経営等を行う中小企業等のこと。
保安林	保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林のこと。保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制される。
ほ場整備	農地区画の整備、用排水路の整備、土壌改良、農道の整備、農地の集団化を実施することにより、労働生産性の向上を図り、農村の環境条件を整備する。

## ま行

まちの公共員	自分の仕事を持ちながら、京都府の職員として長期間地域に定着する、全国初の半公半民の非常勤職員のこと。地域の実態把握や地元住民も含めた多様な主体との協働関係をつくり、地域住民自らがよりよい地域づくりができるような支援を行う。
まちの仕事人	市町村だけでは解決困難な課題に対応し、地方分権にふさわしい住民起点のまちの未来づくりを推進するため、市町村の課題解決の取組の支援を専任する京都府職員のこと。
メンテナンスサイクル	点検、診断、修繕等の措置や長寿命化計画等の充実を含む維持管理の業務サイクルのこと。
木質パレット	物流現場で利用される荷物を載せる荷役台のうち、木材由来の物質で作成したもの。チップ化した木片に接着剤を混入、圧熱成型して製造する。
モデルフォレスト運動	森の恵みを受けている府民みんなで京都の森を守り育む運動のこと。

## や行

山城うるおい水辺パートナーシップ事業	地域の住民団体等が、京都府が管理する河川の一定区間において実施する定期的で継続的な美化清掃や環境保全、調査研究その他河川愛護のボランティア活動に対し、京都府や地元市町村が支援する事業のこと。
--------------------	---



山城NPOパートナーシップセンター	京都府山城広域振興局と立命館大学が学術交流協定を締結し、その共同事業として、平成20年5月末に開設したもの。NPO団体や地域活動団体の交流・協働の場や、大学の地域での実践的な政策研究・教育の場として活用している。
山城広域圏	京都府山城広域振興局管内の地域のこと。
ユニバーサルデザイン	高齢者や障害のある人の生活や活動に不便となる障害を取り除く「バリアフリー」という考え方を一歩進めて、初めから能力や障害にかかわらず、あらゆる人が利用できるように製品や環境等をデザインしようという考え方のこと。
ユネスコ	「国際連合教育科学文化機関」といい、第2次世界大戦後の1946年に、人類が二度と戦争の惨禍を繰り返さないようにとの願いを込めて、国際連合の専門機関として創設（本部はパリ）。活動としては、「UNESCO憲章」の理念を実現するため、教育・科学・文化、コミュニケーションを通じて国際理解や国際協力を推進し、人々の交流を通じた国際平和と人類の福祉を促進している。

## ら行

ライフステージ	乳幼児期、小児期、青年期、壮年期、高齢期など、人生のさまざまな過程における生活上の各段階のこと。
6次産業化	6次産業とは、農業などの第1次産業が食品加工（第2次産業）や流通販売（第3次産業）にも業務展開している経営形態を表す造語で、1次産業＋2次産業＋3次産業＝6次産業の意味。また、このような経営の多角化を6次産業化という。